

## 令和元年度第3回 感染症発生動向調査部会

令和元年6月19日

月番：大西 秀典（STI 以外）、石山 俊次（STI）

### 1 前月の感染症発生動向について（2019年第18週～第22週・5月）

#### <全数把握対象疾患>

（STI 以外）

- ・ 一類感染症については、発生報告は無い。
- ・ 二類感染症については、結核は、発症患者および潜在性結核感染症のいずれも前年同期までの累計及び対象月の対前年比と比較し増加している。
- ・ 三類感染症については、腸管出血性大腸菌感染症は散発しているが、大規模な発生事例はない。菌株としては0157が2件、0103が1件、その他が1件報告されている。
- ・ 四類感染症については、レジオネラの散発例の報告が毎週みられている。
- ・ 五類感染症については、侵襲性肺炎球菌感染症が7件、百日咳が10件が報告されており、対前年比で増加している。
- ・ 風疹が3件、麻しんが1件報告されている。県内での麻しんの流行拡大はみられていない。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、ジアルジア症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘（入院例に限る）、風疹の散発例が報告されている。

（STI）

- ・ 後天性免疫不全症候群：期間中に1例の発生のみ。本年累計は4例で前年同期累計11例に比し発生数は減少している。本年は女性の発生なし。
- ・ 梅毒：毎週コンスタントに発生し続けており、前年同期に比し増加傾向をみとめる。  
本年は男女ほぼ同数の発生。女性は20代が最も多く、10代の発生もみられている。

#### <定点把握対象疾患>

（STI 以外）

- ・ インフルエンザの発生が少ないながらも持続しており、定点当たりの発生数が今月計6.5となっている。
- ・ 気温の上昇に伴い夏期に流行する感染症が増加傾向である。咽頭結膜熱（前月比197.5%）、手足口病（同499.3%）、ヘルパンギーナ（同214.8%）となっている。
- ・ 伝染性紅斑が全国的に流行しており、岐阜県内でも2017年、2018年と比較して発生数が多い状況が続いている（前年同期比2326.3%）。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は全国の定点発生数と比較して県内では少なめで推移している。

（STI）

- ・ 各疾患とも発生動向に大きな変化はみられない。

## 2 検討すべき課題

### ・梅毒について

(事務局)

- ・県内でも若い女性の報告が増加傾向にあり、今年県内で先天梅毒も1例報告されている。
- ・男性患者は風俗利用歴のある者が多い。
- ・現時点で、誰に向けてどの程度の情報を提供すべきか。(参考：平成29年12月15日付「大人のためのぎふ感染症かわら版」)

(石山委員)

- ・若年層への啓発強化が必要。

### ・百日咳について

(大西委員)

- ・ワクチン4回接種者でも学童期以降の罹患が多い。注意喚起が必要。

### ・伝染性紅斑について

(大西委員)

- ・今年度流行が予想され、妊婦等への感染予防についての注意喚起が必要。

## 3 情報提供すべき事項

(事務局)

### ・梅毒について

- ・患者発生状況、保健所で行う抗体検査に関する情報

## 4 情報提供（月番委員専門分野から）

(石山委員)

### ・梅毒：人口当たりの報告数が東京、大阪に次いで第3位の岡山県について

\* 岡山市の調査では、異性間接触により感染した男性患者の約7割が過去数か月以内に風俗店の利用歴があり、女性患者の26%がCSWであったことがわかった。

\* 帝京大ちば総合医療センター産婦人科の鈴木陽介医師らは、東京、大阪、岡山など人口当たりの梅毒患者が多い都道府県は、出会い系アプリ利用も高い傾向があるとの調査結果をまとめ、平成30年秋の日本性感染症学会で発表した。鈴木医師は「アプリ利用による男女の接触が新たな感染経路になっている可能性があり、詳細な調査と対策を急ぐべき」と指摘している。

\* 岡山市の取り組み：20代の女性患者が増加していることを受け、女性向けにデザインした「性感染症検査・相談普及啓発カード」（名刺大・2つ折り）を作成し、市内の計470の医療機関に約8,500枚送付した。

\* 岡山県の取り組み：中高生向けに漫画による啓発パンフレットを作成。若い人が受けやすい検査方法を検討中。

(大西委員)

- ・今年度中に県内一部施設において重症複合免疫不全症に対するマススクリーニング検査の導入試験を開始する予定。5月26日に市民公開講座“新生児マススクリーニングとは”が開催された。

## 5 前回の検討結果を受けた実績等

- ・風しん  
令和元年6月14日付「ぎふ感染症かわら版」

---

<検討結果>